

創業60周年企業紹介



代表取締役社長 内田安則氏

株式会社 中勢ゴム

創 立●昭和39(1964)年5月13日

代 表 者●代表取締役社長 内田安則

事業内容●自動車用ゴム・樹脂部品製造業

【本社工場】津市安濃町内多400
TEL.059-268-2201

【安濃工場】津市安濃町安濃2557-1
TEL.059-268-2208

【白山工場】津市白山町川口4349-3
TEL.059-262-3551

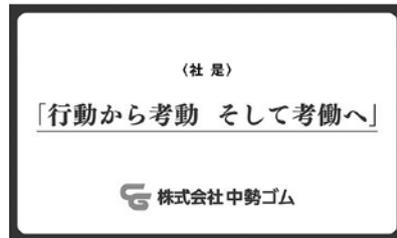
【津工場】津市納所町150
TEL.059-226-3920

これまでの歩み

1964年	株式会社中勢ゴム設立(津工場)
1971年	現所在地に本社を移転
1972年	白山工場を保安部品専門工場とする
1981年	資本金55百万円に増資 豊田合成株式会社資本参加
1988年	安濃工場竣工稼働
1997年	資本金140百万円に増資
2000年	本社工場改築(西棟) 資本金259百万円に増資
2001年	ISO14001認証取得
2002年	本社工場増築稼働(東棟A) 炭化設備(安濃工場)
2003年	ISO9001認証取得 コージェネ設備(本社工場)
2004年	本社工場増築稼働(東棟B)
2005年	資本金396百万円に増資
2006年	物流センター稼働(草生)
2008年	OSHMS認証取得
2014年	創立50周年 物流センターを本社東棟へ移設
2018年	ISO9001・14001 2015年度版認証取得
2019年	ヴィアティン三重 公式スポンサー
2022年	三重県SDGs推進パートナー登録
2024年	創立60周年

●経営理念について

弊社は、1964年(昭和39年)の創業以来自動車用ゴム製品の専門メーカーとして自動車産業の発展に携わって参りました。その間、自動車の性能は飛躍的に向上し、特に安全性、乗り心地、燃費・環境対策の面では、革新的な進歩を成し遂げております。弊社と致しましても、その一端を担える会社であり続けるために、お客様の様々なニーズに応えるための技術向上に努め、安心が当たり前の品質を目指し、最近では特に製品のライフサイクルも視野に入れた環境に配慮したもののづくりに努めております。



然しながら、昨今の激変する社会情勢とそれによる様々な経営リスクに対処していくには、従来の目標達成型の事業モデルでは不十分と考へ、社是を「行動から考動 そして考働へ」と新たに掲げました。

従業員の方々一人ひとりが、「想い」を持って考えながら実行に移すスピード感を大事にしつつ、組織として皆で考えサポートする働く集団となって100年企業を目指していきたいと思ひます。

今日まで支えて下さった皆様に日々感謝致しますとともに、今後とも御指導・御鞭撻賜りますよう何卒宜しくお願ひ申し上げます。

●事業内容について

弊社では技術・品質・環境をキーワードに、主に自動車のボディー部品とホース部品を市内の4つの工場にて生産しております。

ボディー部品では、ドアやボンネット、トランクルームなどの車体廻りの開閉部に使われるスポンジその他複合材のシール製品が主力で、室内の気密性や静粛性など乗り心地を良くする重要な役割があります。また、ホース部品では、動力部であるエンジンへの燃料供給用フューエルホース、ブレーキホースなど100%の安全が要求されるような保安部品をはじめ、ゴム製品・ナイロン製の多様なホースがあります。

これからの製品は、環境に配慮した原材料を調達し、配合から押出・成形・加工まで一貫して生産することで、安心して御使用いただける製品を国内主要カーメーカーをはじめ、海外へも多数供給しております。

●今後の抱負について

昨今の「くるま」の変化は著しく、電動化や自動運転への発展など、これまでの「ものづくり」を変える大きな波が打ち寄せてきています。弊社はこれまで培ったゴム技術を愚直に積み上げ、安心・安全・快適を追及しながらも、自動車の基本性能である「走る・曲がる・止まる」を更に高いレベルへ引き上げ、魅力ある「くるま」づくりに貢献していきます。